

令和4年度 福井市地区社協連絡協議会連絡会・研修会開催

■開催日 令和5年1月23日(月) ■参加者 86名

福井県自治会館において、各地区社協の役員等が参加し、福井市地区社協連絡協議会 1月連絡会及び研修会を開催しました。

今回の研修会では、「地区住民の力を引き出すための地域福祉活動」をテーマに、円山地区社協、日之出地区社協の2地区がそれぞれの地区社協活動を発表しました。各地区とも、地域の実情に合わせた先進的な取組みがなされていて、新たな気づきや発見がある場となりました。

円山地区社協

「お買い物サポート・便利帳について」

野村八重子会長・笹嶋浩子福祉委員



円山地区社協では、地区内の買物について、何らかの支援を行っているお店や、バス・乗合タクシーなど移動に関する情報をまとめた「お買い物サポート・便利帳」を作成しました。今回の取り組みにより、福祉委員と地域の人々が直接顔をあわせ自然と言葉を交わすことで、「地域のつながりづくり」の第一歩となり、活動した福祉委員自身も知識が増え、地域の見守りに繋がったなど変化があったようです。高齢者にとって、何が不自由なのか、何を必要としているのか把握し、いろんな人たちと連携し、支え合いの輪を広げたいと話がありました。



日之出地区社協

「日之出地区ウィークデー防災訓練」

黒川義規会長・吉川幸枝副会長

日之出地区では、令和4年10月25日(火)、地域の大人と学校・PTAが連携した「ウィークデー防災訓練」を開催しました。この取り組みは、日之出地区自主防災組織連絡会を中心に平成28年から平日日中の地震発生を想定した訓練を開始、しかし子どもの姿がないことが課題になり、29年から小学生の下校時にあわせて訓練を開始したものです。

本番当日は、福祉委員の「地震だー!」という掛け声のもと、子どもたちが身を守る行動をしました。

その後、最寄りの安全な避難場所への誘導も福祉委員を中心に行います。今回は天気にも恵まれ、トラブルもなく訓練を終えることができました。子どもたちも真剣な表情で訓練を行っていました。

黒川会長は「来年は一般の住民も含めて地域全体で取り組みを続けていきたい」と話していました。

